

がんばる石巻応援寄附

令和4年度実績報告



1 令和4年度寄附受入実績

69,950件 799,288,949円

皆様からいただいた寄附金は、いったん「がんばる石巻応援基金」に積み立て、当該年度から翌々年度の事業に活用しています。令和4年度中にいただいた寄附金につきましては、令和4年度から令和6年度事業に活用させていただきます。

2 令和4年度寄附金の活用

令和4年度は、「がんばる石巻応援基金」から 524,672,612円 を取り崩し、合計 524,672,612円 を下記事業へ活用しました。

事業区分	充当額	充当割合
市民協働の推進	63,109,000円	12.0%
教育の充実	71,600,416円	13.6%
産業振興	277,988,416円	53.0%
保健福祉の充実	35,009,780円	6.7%
環境保全や文化の振興	35,500,000円	6.8%
道路・住宅・公共交通の整備	41,465,000円	7.9%
計	524,672,612円	100.0%

令和4年度充当事業一覧

1 市民協働の推進	1	地域交流・定着支援等事業
	2	スポーツ交流推進事業
	3	震災伝承施設指定管理事業
2 教育の充実	4	教育指導奨励事業（小中学校体育文化活動補助）
	5	社会科副読本関係事業（小中学校用社会科副読本作成）
	6	学校わくわくプラン事業
	7	サイエンスラボ事業
	8	学力向上推進事業
	9	魅力ある学校づくり事業
	10	子ども読書活動推進事業
	11	複合文化施設管理事業（企画展・特別展関連）
	12	複合文化施設管理事業（開館関連）
3 産業振興	13	密漁対策補助事業
	14	大漁まつり補助事業
	15	食品輸出振興協議会負担事業
	16	いしのまき和牛ブランド化対策助成事業
	17	創業支援補助事業
	18	石巻フード見本市開催事業
	19	6次産業化・企業育成事業
	20	伝統工芸品振興事業
	21	マンガバスラッピング事業
	22	旧北上川かわまちづくり検討支援事業
	23	旧北上川堤防利活用運営企画事業
4 保健福祉の充実	24	結婚等支援事業
	25	地域互助活動促進事業
	26	奨学金返還支援事業
	27	子ども・子育て支援事業（ベビーグッズセット進呈、出産祝メッセージ作成）
	28	子ども・子育て支援事業（小学校入学祝金支給）
5 環境保全や文化の振興	29	花いっぱい運動事業
	30	太陽光発電等普及促進事業
	31	リボンアートフェスティバル補助事業
6 住宅・公共交通の整備	32	路線バス運行補助事業
	33	おしか家族旅行村オートキャンプ場施設改修事業

1 市民協働の推進

1. 地域交流・定着支援等事業

● 目的

市外から市内に移住をしようとする者が住宅を取得若しくは改修した場合又は市内の空き家所有者が移住者へ賃貸するために当該空き家を改修した場合に補助金を交付することで、当市への定住促進を図る。

● 実績

住宅取得 51件（新築19、建売16、中古16）
住宅改修 2件

● 成果

住宅取得件数及び住宅改修件数がそのまま当市への移住世帯となり、本事業の目的である定住促進に大いに寄与することができた。

2. スポーツ交流推進事業

● 目的

スポーツ交流イベントを幅広く実施し、様々な観点からスポーツの楽しさ・魅力を体感いただくとともに、市内スポーツ交流人口の増加を図り、スポーツによる街づくりを推進する。

● 実績

- ① 陸上競技クリニック in 石巻（参加者数：72人）
- ② オリピックデーラン（参加者数：224人）
- ③ あすチャレスクール（参加者数：306人）
- ④ ベガルタ仙台との連携事業（参加者数：299人）
- ⑤ マイナビ仙台との連携事業（参加者数：43人）
- ⑥ 楽天イーグルスとの連携事業（参加者数：54人）

● 成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加人数の減少がみられ、ニーズ等の把握が不十分であったことから、参加人数の伸び悩みがあった。しかし、プロアスリートやパラリンピアン等との交流を実施することで、スポーツの楽しさや魅力を伝えるとともに、市民の健康増進や青少年の健全育成を図ることができた。



オリピックデーラン



あすチャレスクール

3. 震災伝承施設指定管理事業

● 目的

東日本大震災の最大の被災地である当市は、かけがえのない大切な命を守るため、震災の事実と教訓、復旧・復興への思いを、世代を越えて、地域を超えて、全ての人々へ伝え続ける取組を展開する。

● 実績

来訪者数

- ・震災遺構門脇小学校 38,957人
- ・震災遺構大川小学校 77,563人

● 成果

震災遺構門脇小学校は、R4.4.3から一般公開し、R4.6.19には入館者1万人に達成した。地域との連携、関係団体等との連携を図り、企画展や3.11夜間特別開館等を実施しR5.3.11には、1,033人の来訪者数があった。

震災遺構大川小学校は、R3.7.18から一般公開し、関係団体等の活動によるPR効果や、「大川竹あかり」等のイベント実施により、R5.3.11には3,888人の来訪者があり、多くの人々が施設を訪れた。

2 教育の充実

4. 教育指導奨励事業（小中学校体育文化活動補助）

● 目的

石巻市の小中学校の児童生徒の体力向上及び情操教育の推進に資するとともに、大会に参加する児童生徒の保護者等の経済的負担軽減を図るため、教育活動の一環として児童生徒を各種大会等に派遣することに要する費用に対して、予算の範囲内において石巻市立小中学校体育及び文化活動補助金を交付する。

● 実績

中体連等体育大会への交通費（バス代等）補助金として、市内中学校18校に対し、地区大会66件、県大会29件、東北大会10件に交付した。

文化活動補助件数としては、6校に対し地区大会7件、東北大会1件、全国大会1件に交付した。

● 成果

該当する事業内容に対して、補助金補助率75%（文化活動の楽器輸送費は100%）を交付し、保護者の負担を軽減ができた。

5. 社会科副読本関係事業（小中学校用社会科副読本作成）

● 目的

社会科学習の地域教材となる副読本を作成し、自分たちの住んでいる地域社会や地域の歴史・文化に対する関心を高め、理解を深めるとともに、地域を愛する心情を育てる。

● 実績

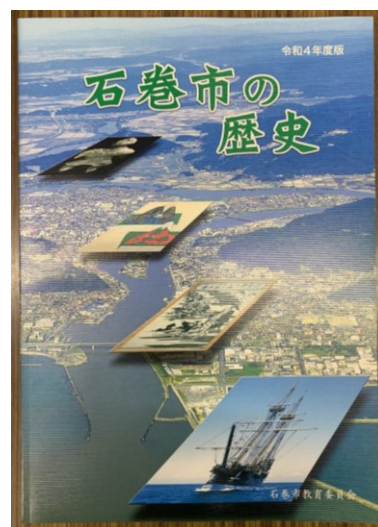
社会科の地域学習の教材となる副読本を作成し、小学校3年生、中学校1年生に配布した。

小学校3年生用：1, 310部

中学校1年生用：1, 345部

● 成果

社会科副読本を活用することにより、児童生徒が石巻市の歴史や社会的事象について意欲的に学ぶことができた。また、地域社会の一員として自覚や地域に対する誇りと愛着を深めるような学習展開を進めることができた。



6. 学校わくわくプラン事業

● 目的

児童生徒の主体的に生きる力を育成し、小・中学校が連携しながらわくわくする学校づくりを実践するため、教員の指導力向上を図る。

● 実績

・指導力向上研修会の開催 2回

・授業コンサルテーション

実施地区：牡鹿地区、飯野川・北上地区、蛇田地区、桃生地区

実施校数：小学校8校、中学校4校

● 成果

全体研修会や専門的視点からのコンサルテーションにより、授業改善の新たな視点を心得、児童生徒が主体的・意欲的に学習するための授業実践を学ぶことができた。

7. サイエンスラボ事業

● 目的

児童生徒が科学への興味・関心をもち、問題解決の力や自然を愛する心情を育てるとともに、教員の理科指導力の向上をとおして、石巻市の理科教育の充実を図る。

● 実績

1 科学巡回教室は、「原子・分子の学習」「宇宙の学習」「科学実験」「ものづくり」等のプログラムで、30小学校、4中学校、けやき教室で実施した。科学イベントは17小学校、7幼稚園、こども園で実施した。

・授業コンサルテーション

実施地区：牡鹿地区、飯野川・北上地区、蛇田地区、桃生地区

実施校数：小学校8校、中学校4校

2 学校・教員に対する相談活動は、科学巡回教室の際に情報交換を行った。

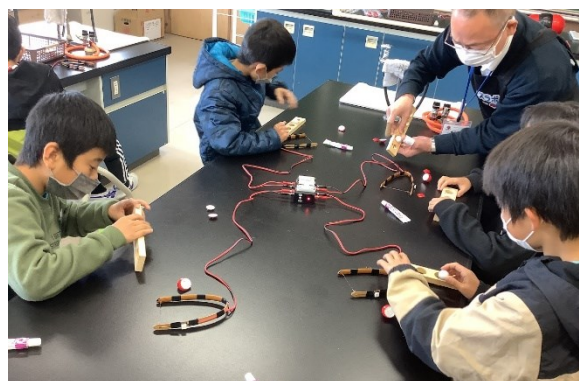
3 夏季休業に開催した研修会では、昆虫の体の仕組みを調べるためのモデル作製研修を実施した。

4 企業と連携し、電子顕微鏡を用いた理科出前授業を実施した。

● 成果

サイエンススーパーバイザーによる楽しく分かりやすい授業により、受講した児童生徒は科学に対する興味を高め、意欲的に学習することで理解を深めることができた。

また、教職員向けの研修会を実施することにより、教員の理科指導力向上の一助となった。



8. 学力向上推進事業

● 目的

全国学力・学習状況調査の分析を基にした指導の工夫改善を図り、確かな学力向上に努める。

● 実績

標準学力調査受験者数

・ 4月 小学生 4,927人（1年生を除く）、中学生 3,068人 計7,995人

・ 12月 小学生 5,851人、中学生 2,884人 計8,735人

● 成果

標準学力調査の結果を受け、各校においては、その分析と教員による授業改善が検討・実施された。また、学力向上推進委員会において、課題の洗い出しと解決策の立案の検討が行われ、その結果については、各校へ発信し、授業改善の水平展開を促進できた。

9. 魅力ある学校づくり事業

● 目的

桜坂高等学校の生徒に、未来を生きる基盤となる資質・能力を身に付けさせ、豊かな人間性や品格を持ち、地域社会に貢献する人材を育成する。

● 実績

- ・ 品格教育に係る講座（小笠原流礼法指導）
- ・ 学力保証に係る講座（野外観察、授業づくり研修）
- ・ キャリア教育に係る講座（社会人講話、進路探究、法律講座）
- ・ 「桜坂タイム」を軸とした地域社会と連携した探究活動の実施
- ・ 高大連携の出前講座の活用
- ・ ハローワークとの連携による合同企業説明会への参加

● 成果

地元の各方面で活躍している方を講師として招聘することにより、生徒のロールモデルとなり、将来、地域社会で生きていくための、なりたい自分へのイメージを持つことができた。



社会人講和



模擬面接

10. 子ども読書活動推進事業

● 目的

乳幼児期に読書の楽しさと出会うために、保健相談センター等で実施される乳幼児検診の際にブックスタート活動を実施し、乳幼児健診における読書活動の推進を図る。

● 実績

3・4か月児健診時に活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、ボランティアによる読み聞かせは行わず、保健師からブックスタートパックの配布のみを行い、670人へ配布した。

● 成果

ブックスタート配布時のアンケートによると「ブックスタートにより、読み聞かせに繋がる」と回答した保護者の割合は98.5%となり、効果を実証できた。

1 1. 複合文化施設管理事業（企画展・特別展関連）

● 目的

企画展を通じ、博物館資料や石巻市に関する調査研究の成果を踏まえ、学術的な視点から石巻市の魅力を市民に分かりやすく発信し、市民の地域に対する理解を深める。また、時宜にかなった特別展を開催することで、市民の知的探求心を満たす。

● 実績

1 企画展「平山郁夫が描いた奥の細道－松尾芭蕉がみた石巻－」

開催期間：令和4年5月20日（金）～6月26日（日）

入場者数：1,320人（有料観覧者数 1,147人）

満足度：89%



2 特別展「発掘された日本列島2022」

地域展「毛利総七郎・遠藤源七の考古コレクション－明治・大正・昭和戦前期の発掘と蒐集－」

開催期間：令和4年9月17日（土）～10月23日（日）※地域展は11月6日まで

入場者数：2,341人（有料観覧者数 1,616人）※列島展・地域展総数

満足度：85%



3 企画展「石巻の板碑－調査の記録をたどる－」

開催期間：令和5年1月28日（土）～3月26日（日）

入場者数：755人（有料観覧者数 683人）

満足度：91%

● 成果

新型コロナウイルスの影響の残るなか、予定通り企画展2本、特別展1本を開催することができた。また、各展示会において、85%以上の高い満足度を得ることができ、市民に対して文化・芸術に親しむ機会を提供し、知的探求心を満たすことができた。

1 2. 複合文化施設管理事業（開館関連）

● 目的

複合文化管理運営計画で示された基本理念、基本方針に基づき、施設の魅力を市内外に広く発信することを目的に開館前の令和2年10月から令和3年3月まではプレイベント事業、令和3年4月から令和5年3月までの期間をオープニング期間と位置付け開館記念事業として、新施設がどのような機能を備え、それをどのように活用できるか等をホール等で魅力的な講演等を開催し、市民をはじめとした多くの方に広くアピールする。

● 実績

8回実施 合計2,846人動員

● 成果

開館後の施設周知につながった上、市民に文化・芸術に触れる機会を提供することができた。

3 産業振興

1 3. 密漁対策補助事業

● 目的

アワビ・ウニ等の密漁を防止し沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る事を目的とする。

● 実績

延べ監視日数 687日（監視船377日、監視所310日）

延べ監視時間 4,097.5時間（監視船953.5時間、監視所3,144時間）

● 成果

監視活動を実施し不審船を追尾するなど、密漁行為を未然に防止した。

1 4. 大漁まつり補助事業

● 目的

全国有数の魚の水揚げ地である水産都市・石巻市の活性化を図るとともに、日頃、水産品を愛好されている消費者の皆様に感謝を込めて、新鮮で安全・安心な魚介類と高度な生産加工技術から作られる水産品を広く紹介し、市民はもとより、広く県内外の人々にも石巻を強く印象づける娯楽性に富んだ行事として、定着させることを目的とする。

● 実績

来場者数：32,000人

出店者数：60団体

売上金額：2,000万円

● 成果

新型コロナウイルス等の影響により平成30年以来4年ぶりの開催となったが、大きな混乱もなく大盛況のうちに終えることができた。市民のみならず県内外からの来場者も多く、「水産都市 石巻」のPRと本まつりの定着を図ることができた。



15. 食品輸出振興協議会負担事業

● 目的

主要輸出対象国等における石巻ブランドの販路開拓を通して、一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図る。

● 実績

① 共同輸出に向けた体制強化

幹事会・事業者会議の開催、相談体制の継続、輸出可能商品の拡充

② 輸出拡大に向けた取組み

GFPグローバル産地づくり推進事業、海外トップシェフ・ジャーナリスト招聘、マレーシアでの石巻フェアの開催、発酵コンソーシアム試食会への参加、その他各種商談

● 成果

① 共同輸出に向けた体制強化

- ・事業者会議を開催したことで、事業者間の連携に繋がったほか、事業者の意見を事業へ反映することが出来た。
- ・輸出実務に係る相談体制を整え、輸出情報の提供、事業者への訪問を随時行ったことで、事業の円滑化が図られた。

② 輸出拡大に向けた取組み

- ・GFPグローバル産地づくり推進事業を活用し、アメリカ輸出に向けた産地体制づくりの推進が図られた。
- ・フェアの開催、商談会への参加等により、トライアル出荷や成約に至った。
- ・在米日本大使館との連携により海外トップシェフやジャーナリストを石巻に招き、魚市場、水産加工場等の視察を通じて石巻産水産物のPRが図られた。



アメリカ市場調査



石巻フェア in マレーシア

16. いしのまき和牛ブランド化対策助成事業

● 目的

宮城県基幹種雄牛を活用した石巻地域の和牛ブランド化と、優良な和牛生産地としての地位を維持するため、保留対象牛導入者に対して経費の一部を助成することにより、子牛生産現場における生産意欲の高揚を促す。

● 実績

石巻市産宮城県基幹種牛	6頭	480,000円
石巻市外宮城県基幹種牛	55頭	2,750,000円

● 成果

宮城県基幹種牛産子の導入により、和牛ブランド化が推進された。

17. 創業支援補助事業

● 目的

地域における創業者の支援を行い、開業率の向上による当市産業の活性化及び雇用の確保を目的とし、当市において創業（第二創業を含む。）を行う事業者を支援するために交付するもの。

● 実績

今年度は新規で13件の応募に対し、書類審査及びプレゼンテーション審査を経て11者が補助金の採択者となり、補助金の交付を行った。

● 成果

採択を受けた11者のうち、9者が実際に市内で創業を開始しており、産業の活性化や雇用の確保に繋げることができた。また、残りの2者についても創業準備中であり、令和5年度中に創業を開始する予定である。

18. 石巻フード見本市開催事業

● 目的

企業の商品の生産・流通の再生と石巻地域における優れた地域食材の販路開拓と販路拡大を図る。

● 実績

3年ぶり単独での開催となった本見本市は、市内の水産加工会社を中心に29社が出展し、各企業の主力商品を全国の百貨店等のバイヤーに対して、自慢の商品を商談に繋がるようPRを行った。例年合同で行われていた塩釜の見本市が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、以前よりバイヤー数は減ったものの、当市の新商品や水産加工の技術を全国へ発信することができた。

※来場バイヤー数：160社 380名

● 成果

多くの来場者が商品を手にとって確認している様子がうかがえた。また、当日実施したアンケートにも「展示が見やすかった」「新たな商品を発見できた」「石巻のトレンドを知ることができた」などポジティブな意見が多く、事業者の魅力伝えることにつながった。



開会セレモニー



展示の様子

19. 6次産業化・企業育成事業

● 目的

当市の重要産業である農林水産業の6次産業化を推進し、地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上、販路を拡大するため、石巻市6次産業化・地産地消推進センターを設置し、6次産業化の担い手となる人材の育成と事業化支援を行い、1次産業事業者の経営多角化、所得向上と地場産業の振興を推進する。

● 実績

相談件数：47件

ハンズオン支援：82件、セミナー開催：2回、計27名参加

対面販売会開催：1回、16事業者参加、WEB商談会開催：1回、6事業者参加

● 成果

6次産業化を通して、石巻産の農林水産物を活用した商品のブランド化が推進された。



20. 伝統工芸品振興事業

● 目的

国の伝統的工芸品に指定されている「雄勝硯」の技術と伝統を後継者育成を含め継承するとともに、消費拡大、生産基盤強化を図る。

● 実績

①技術継承

製作技術研修会 30回

後継者への技術指導・硯生産のワークショップ（My硯）

小中学校3校 約300名

②販路拡大

各種物産展への出店、講演等 県内外 6か所

文房四宝展の開催

北海道庁へのスレート販売営業活動の実施

新商品開発に伴う新しい商品カタログの作成

③ホームページのリニューアル、ネット販路（楽天市場）の強化

④生産基盤強化

製作副資材共同購入、雄勝石採石事業



● 成果

新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、ワークショップや物産展参加の回数については昨年度を上回ることができた。また、ホームページのリニューアルや大手ECサイトへの出店等により、インターネット販売の成果が徐々に向上しているなど、一定の成果があった。

21. マンガバスラッピング事業

● 目的

仙台圏域へ向け、当市の観光情報発信と観光交流人口の拡大を目的とし、石巻～仙台間を運行する高速バス2台へ当市の観光素材とマンガを組み合わせたラッピングを施すもの。

● 実績

・ラッピング広告期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

・ラッピング台数：2台

・運行回数：1日4往復（1台2往復）

・広告請負：ミヤコーバス 1,980,000円

● 成果

平成31年4月より新デザインでマンガバスの運行を行い、市内の周遊・滞在を促進するPRを仙台～石巻間にて発信できた。



2 2. 旧北上川かわまちづくり検討支援事業

● 目的

旧北上川を中心としたかわまちづくり関連施設における市民協働の利活用等の実現に向けて、方策の検討を行う。

● 実績

かわまちづくりに係る利活用の取組みの検討（住吉地区）

- ・利活用方策について、関係機関（住吉小）と調整し、小学3年生の学習指導要領に基づく水辺空間での学習を提案した。

● 成果

水辺の環境についての学習や河川と共に育まれてきた地域の文化を学ぶことの必要性を関係者と共有し、今後のかわまちづくり関連施設の利用推進が図られた。

2 3. 旧北上川堤防利活用運営企画事業

● 目的

中央地区堤防一体空間の利用促進、賑わい創出を図るための企画運営、維持管理を担うエリアマネジメント体制による社会実験の実施等を行う。

● 実績

○企画運営

- ・堤防一体空間を利用したイベント数：23回 来場者数：約7,500名
- ・商業活動等登録事業者数：6事業者
- ・堤防一体空間の広報活動等：SNS等の活用

● 成果

石ノ森漫画館をスクリーンにした「かわべでシアター」や音楽祭など様々なイベントを実施し、賑わいの創出が図られた。



かわべでシアター



トリコローレ音楽祭



GOOD LUCK マルシェ

4 保健福祉の充実

25. 結婚等支援事業

● 目的

結婚から子育てまでの切れ目のない支援を促進するため、結婚を希望する独身者及び新婚世帯への支援を拡充し、未婚・晩婚化の抑制を図るとともに、当市への移住・定住者の増加を促進する。

● 実績

- ・結婚等支援事業補助金 婚活事業 2件：505,431円
- ・みやぎ結婚支援センター利用促進補助金 5,500円×44名＝242,000円
- ・結婚新生活支援事業補助金 51件：17,934,000円
- ・みやぎ青年サポートセンター負担金 80,000円 計18,761,431円

● 成果

みやぎ結婚支援センター利用促進補助金及び結婚新生活支援事業補助金は、今年度から実施された新規事業であり、独身者や新婚世帯である若い世代への支援の充実が図られた。

26. 地域互助活動促進事業

● 目的

地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進を図るため、住民に身近な地域において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みる環境の整備、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備及び地域住民が主体的に行う互助活動の促進を行う。

● 実績

- 14団体が実施する24事業について交付
- 【内訳】見守り・声がけ支援（3団体）、送迎支援（1団体）
送迎支援＋見守り・声がけ支援（8団体）
見守り・声がけ支援＋交流・助け合い活動（2団体）

● 成果

地域互助活動を行う団体の増加が図られた。

27. 奨学金返還支援事業

● 目的

助成金を交付することにより、地域包括ケアシステムの推進に必要となる医療・福祉・介護の専門職の人材確保と定住促進を図る。

● 実績

- 【助成内容】年度内に返還した奨学金の額（上限額20万円）
- 【助成期間】最大3年間
- 【助成対象者】①奨学金の貸与を受けて大学、短大、専門学校に進学したもの
②平成28年4月1日以降に、市内の事業所に正規雇用され、保有資格に基づく業務に従事する者で、年度末まで継続して勤務するもの

● 成果

助成金を交付することで、地域包括ケアの推進に必要となる医療・介護分野における人材確保及び定住促進が図られた。

28. 子ども・子育て支援事業（ベビーグッズセット進呈、出産祝メッセージ作成）

● 目的

次代を担う子供の妊娠・出産を祝うとともに、その子どもの健やかな成長を願い、祝い品を贈呈することで、子育てにやさしい街づくりを推進し、少子化対策の一助とする。

● 実績

- 1 妊娠祝品：マタニティキーホルダー 596個
- 2 出産祝品：ベビー用品セットとメッセージカード 641個

● 成果

妊娠祝品を身につけることで、周囲からの理解が得られやすくなり安心して過ごすことができた。また、出産祝品は赤ちゃんが安全かつ安心して使えるオーガニックコットン製品であり、大変喜ばれている。



マタニティキーホルダー



ベビー用品セットとメッセージカード

29. 子ども・子育て支援事業（小学校入学祝金支給）

● 目的

少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担を軽減するため、第2子以降の子を監護する保護者等に対して小学校入学祝金を支給する。

● 実績

支給数 519名 （全体支給額 15,570,000円）

● 成果

第2子以降の子を監護する保護者等に対して小学校入学祝金を支給することにより、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の一助になった。

5 環境保全や文化の振興

30. 花いっぱい運動事業

● 目的

環境美化推進協議会事業のひとつである「グリーン運動」の一環。清潔で健康な街づくりを推進し、緑豊かな美しいまちづくりを目指す。

● 実績

1 令和4年度花いっぱい運動実施団体数

石巻40団体 河北37団体 雄勝14団体 河南14団体

桃生10団体 北上18団体 牡鹿5団体 合計138団体

2 花苗数

43,779本

● 成果

花苗を植える活動により、緑豊かな美しいまちづくりを実践することができた。



鹿又ふるさと保全会 本町支部



渡波さくらの会

31. 太陽光発電等普及促進事業

● 目的

自然エネルギーの利用を促進することにより、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に資するとともに、市民の環境に対する意識の高揚を図る。

● 実績

申請件数及び補助金の額

・太陽光発電システム 143件 交付額：11,181,000円

・蓄電システム 153件 交付額：15,300,000円

・HEMS 48件 交付額：1,440,000円

● 成果

太陽光発電による電力需給量の増加を促進し、二酸化炭素の排出を抑制することで、地球温暖化防止に資するとともに、カーボンニュートラル社会の実現に向けて市民の環境意識高揚を図ることができた。

3 2. リボーンアートフェスティバル補助事業

● 目的

アーティストが地域と交流しながら、牡鹿半島、ひいては宮城県の魅力を広く発信することで交流人口の増加や雇用の創出等を図る。

● 実績

令和4年8月20日（土）から令和4年10月2日（日）まで、Reborn-Art Festival2021-22 後期を開催した。コロナ禍での開催であり、事業内容を一部変更して開催した。

● 成果

延べ来場者数は約12万人、経済波及効果は6億3,580万円であった。

ART | キュレーター、展開エリア



■ キュレーター

和多利恵津子・和多利浩一
(ワタリウム美術館)



■ エリア

復興祈念公園周辺エリア、渡波エリアが新たな会場に、
RAF2021-22 [後期] は全5会場にて展開。
21組のアーティストが26作品を展開。
加えて常設作品（既存作品）6作品も展示。



エリア	アーティスト名
A 石巻中心市街地エリア	山内祥太、笹岡由梨子、プロダクション・ゾミア、梅田哲也、川俣正、有馬かおる、オスジェメオス、朝吹真理子、弓指寛治、渡邊慎二郎 (10作品)
B 復興祈念公園周辺エリア	雨宮庸介、加藤泉、風間サチコ、目 [mé]、さわひらき、弓指寛治、保良雄、川俣正、SIDE CORE(BIEN/EVERYDAY HOLIDAY SQUAD) (10作品)
C 渡波エリア	小谷元彦、保良雄 (2作品)
D 桃浦・荻浜エリア	藤本壮介、小林武史、伊勢谷友介 常設：久住有生、金氏徹平、名和晃平 (3作品、常設3作品)
E 鮎川エリア	有馬かおる 常設：吉増剛造、鳥袋道浩、増田セバスチャン (1作品、常設3作品)

6 住宅・公共交通の整備

3.3. 路線バス運行補助事業

● 目的

市民の通院、通学、通勤、買い物等の交通手段を確保するとともに、交通不便地区を解消するため、路線バスの運行を支援するもの。

● 実績

運行主体である宮城交通株式会社に対し補助した。

● 成果

合併前の石巻市内のみを運行する市単独路線バスの運行主体に対して運行費を補助し、市民生活の利便が図られた。

3.4. おしか家族旅行村オートキャンプ場施設改修事業

● 目的

アウトドアブームにより、利用客が大幅に増加している中、快適に過ごしていただけるように、度重なる地震等のため破損した、サニタリー棟やケビン棟の内装等の改修を実施するもの。

● 実績

工期：令和4年6月2日～令和5年1月27日（全7工期）

● 成果

地震等でひび割れした壁紙や天井を修繕したことにより、きれいな内装となり、リピーターの増加や、新規利用者の増加が見込まれる。また、施設の劣化防止にもなり、利用者離れが抑えられ、安定した施設運営を行うことが可能となった。



ケビン棟

寄附者の皆様から頂いたメッセージを紹介します！

石巻市がますます元気なまちになりますよう応援いたします。

石巻独自の魅力を磨き、宮城第二の都市が仙台市とは異なる方向性でより発展していくことを期待します。

幼少の頃、家で働いていたお手伝いさんが石巻出身で、実家から仕送りされた海産物をしばしば頂き、美味しかった思い出が有ります。地震の被害が大きかった様だが、負けずに復興されん事を祈ります。

「がんばろう！石巻」看板をはじめ、震災の教訓を次の世代に繋げていくことが重要だと思いますので、頑張ってください。

石巻の牡蠣が大好きです。漁業もそれ以外の業も発展して行ってほしいです。

市内の女子校に通学していた頃が懐かしいです。進学を機に地元を離れましたが、震災のボランティアで娘が石巻を希望して参加したことに縁を感じました。

香取慎吾さんの「凧待ち」という映画を見ました。
お祭りのシーンでのお祭りがこちらだと Twitter で知り、応援いたします。
地元のみなさんの笑顔あふれるお祭りができますように。

家族が石巻に住んでいます。納税は少しばかりではありますが・・・これからもどんどんと住みよい街になりますよう、応援しています。

令和4年度においても、寄附者の皆様のご支援により、市民サービスの向上や産業の活性化、文化の振興などに向けた各種事業を実施することができました。これからも、よりよい石巻市となるよう励んでまいりますので、引き続き応援くださいますようお願いいたします。